

2011年 3月号
通巻 110号

発行所

岩手県盛岡市中央通3丁目8-16

電話019-651-0810

FAX019-653-1057

岩手県同胞生活相談総合センター

ハナ



東京第3初級学芸会(2/5)

毎月25日発行 0円 同胞生活情報誌 ハナ korea-iwate@ictnet.ne.jp

「2011年 朝・日新春交流会」

2月15日、新春恒例の「朝・日新春交流会」が労働福祉会館で行われ、日朝友好岩手県民会議傘下の日本の各界人士と同胞が参加しておこなわれた。第一部は「日朝新春講演会」。まずは崔成守県本部委員長が、『朝鮮半島情勢展望』と題し、一昨年以降確実に上昇軌道へと転じ、2012年を目指し生活水準向上へ拍車をかける朝鮮の経済状況と極度の緊張状態にある半島情勢の原因と今後を展望した。今年に入り対話モードにシフトしようとする米国のおもわくとその意をくみ対話へ舵を切ろうとする日本、韓国の思惑などを解説した。二人目の講師として吉見正信(いわて教育文化研究所所長)さんが講演した。吉見さんの母親は戦前、朝鮮人留学生を下宿させていた関係で幼い頃から朝鮮人と接していたこと、差別と偏見のなかで生きている朝鮮人に対する思いを語った。また、記者時代に接した、関東大震災時の朝鮮人虐殺とそれを隠蔽した政府、マスコミの実態などについて語り、報道に踊らせず、過去のあやまちを真摯に反省し平和を思う事などについて講演した。第2部の「朝日新春交流会」では日朝友好岩手県民会議小原宣良会長と「朝鮮総連岩手県本部」崔成守委員長の挨拶があった。また、昨年8月訪朝した、大志田尚一郎さんから訪朝報告があった。交流会では停滞している朝・日関係を打開するためよりいっそう交流と連帯を強めていこうと語りあった。



講演する崔委員長



吉見正信氏の講演



小原会長の挨拶



乾杯の様子

「高校無償化」必ず勝ち取る！

「2.26朝鮮学校への『無償化』即時適用をもとめる大集会」が2月26日、東京の代々木公園野外ステージで行なわれた。東京で行われる大規模なものとしては4回目となった今回の集会には、324団体が賛同、2千余人の同胞、学生、日本市民らが参加した。

「高校無償化」問題浮上から1年、朝鮮高級学校の高3生徒らの卒業が目前に迫った現在もなお、「無償化」制度の申請手続きは停止されているままである。この不当な差別的処遇に怒りの声をあげるべく、日本各地から賛同者たちが集った。

集会では、主催団体である「高校無償化」からの朝鮮学校排除に反対する連絡会を代表し、長谷川和男さんがあいさつをした。長谷川さんは、これまで3回にわたり行なってきた集会や過去1年間、日本各地で展開された「無償化」運動によって、連帯の輪が広まったことについて述べながら、「無償化」問題は、日本の差別、排外主義を表している問題だと指摘した。「朝鮮学校10校だけが除外されていることは、絶対に許してはならない。日本の民主主義と人権感覚が問われている。粘り強くたたかていこう」。

また、朝高生、一橋大学学生、全国朝鮮高級学校校長会の慎吉雄会長(東京朝鮮中高級学校校長)、同校オモニ会代表、「外国人学校・民族学校の制度的保障を実現させるネットワーク」の田中宏一橋大学名誉教授、金舜植弁護士、共催団体である「フォーラム平和・人権・環境」の藤本泰成事務局長らが発言をした。また、日朝学術教育交流協会の中村元気会長、日朝友好三重県民会議の鈴木逸郎会長、「朝鮮学校無償化ネットワーク愛知」の小野政美事務局長をはじめ、北海道と広島の日教職員組合のメンバーらが地方から駆けつけ、発言した。

集会では、参加者たちによる決議文が採択された。参加者たちは、集会の最後に、「無償化」問題が解決されるまでたたかいを継続すること、各都道府県で浮上している朝鮮学校への補助金削減問題に対処し最後までたたかい抜くことなどを確認し合った。集会後、渋谷駅周辺を通り、神宮通り公園までデモ行進が行なわれた。

「朝鮮新報」より転載、岩手日報2/27(27面)に関連記事掲載



『いもじよも』掲示板

△ウリ信岩手支店「感謝デイ」

日時:3月16日(水)10:30～

会場:ウリ信用組合 岩手支店

—講演— 講師:蔡鴻氏

テーマ:現在を生きる「過去」～遺骨と向き合うこと～

※詳しいことは「ウリ信用組合 岩手支店」にお問い合わせください。

△「早春」同胞ゴルフコンペ

日時:3月29日(火)9:30集合、10:00スタート

場所:盛岡南ゴルフ場

参加費:3,000円

主催:同胞生活センター

締切:3月24日(木)

連絡先:朴相浩 090-3121-8772

※特に趣旨はありません。本格的なシーズンインに備えて腕慣らしに、ご一緒しませんか。

△『朝高卒業生・朝大入学生祝賀会』

日時:3月29日(火)18:00～

会場:焼肉「三千里」大通店

主催:朝大岩手同窓会・各機関共催

会費:7,000円

連絡先:同胞センター(カン) 019-651-0810

△東北朝鮮初中級学校 2011年度 入学式

日時:4月5日(土)10:00

会場:東北朝鮮初中高級学校 食堂

△朝鮮大学校 2011年度 入学式

日時:4月10日(日)10:00

会場:朝鮮大学校 講堂

携帯メール通信

『同胞モバイル通信』にご登録を!

祖国と総聯に関するニュース(随時)やイベント案内をメールにてお届けします。

ご登録ページ

http://29.pro.tok2.com/~kurim/i_mail/i_mail.html

QRコードは
こちらから



ドクター カンの健康講座



第100回

ワクチンで

子宮頸がんの予防を

日本では年間1万5000人が子宮頸がんと診断されています。

昔は子宮頸がんといえば50代、60代の中老年の女性のがんでしたが現在では30代、40代の若い世代のがんに変わってきました。

子宮頸がんはヒトパピローマウイルス (HPV) というウイルスの感染によって発生します。100以上の型があり、そのうちの「ハイリスク型」と呼ばれる10数種ほどが子宮頸がんの原因となります。感染経路は性交渉です。性体験のある女性の約8割が1度は感染するといわれています。

90%は自分の免疫でウイルスが排除されますし、残りの10%も前がん状態の「異形成」をつくりませんがほとんどは正常に戻りますので感染してもがんになるのは1000人に1人ぐらいです。

一旦免疫で排除されても又感染を繰り返すのもこのウイルスの特徴です。

子宮頸がんをワクチンで予防するという夢のようなワクチンが作られ日本では公費で接種されることになりましたね。

現在承認されたワクチンは「ハイリスク型のウイルス」のうちの「16型」と「18型」の2つのウイルス感染を防ぐワクチンです。「なんだ。2つだけか」と思われるでしょうが、この2つは非常に「強い型」で子宮頸がんの約70%を占めているため70%は予防できるということになります。又「16型」と「18型」以外の型にも少しは予防の効果があることもわかっております。ワクチンの効果は20年以上です。

大事なことはワクチンは予防であって治療の効果はまったくありません。残りの30%のがんにならないようにするためにはやはり検診しかありません。日本のがん検診率は先進国では最低です。

ワクチンは日本では性経験の少ない中学生が対象となり公費で無料で接種が始まりました。

自費の場合は以前にも書きましたが3回で5万円ぐらいになるでしょう。若い20代、30代の人々にもすすめますが中高年の女性はやはり検診が一番です。

早く春が来てほしいですね。

(協力:幸クリニック院長 姜幸一先生)